

テーマ:フリーテーマ設定

■あるべき姿

・長岡の技術力を発信していくために ・美 ・おしゃれなこと 障害者と健常者 ・いろいろな部分の境界線 ・生活満足度の向上 ・技術 ・芸術
・遊ぶ場所 ・IT(もっと活用を広めていくために必要不可欠なツール ・学生を外に出すには? ・学生と社会人をつなぐためには ・介護
・仕事って何? ・10年後の長岡は? ・日曜日にどこで遊ぶ? ・思わず、長岡を歩きたくなる街に ・長岡のまちのメインテーマって?
・駅周辺がさみしい ・長岡の遊び場 ・ハブステーション(道の駅) ・三条百年物語みたいな集団 ・スケボーパークのドッグランなど
・世界がうらやむ長岡 ・移住 ・パート(仕事) ・花火以外に特に誇れること

■現状・課題

・駅前、楽しくない ・アオーレしかない ・4つの橋をシンボルにPRできないか ・景観に統一感ほしい ・長岡が好きだ ・美食の街長岡
・信濃川を活かす ・短期・少額・名が売れる ・色:小さな決まりを作る(テーマカラー)

■やれること

・撮影スポットをつくる ・色:小さな決まりを作る(テーマカラー)

企業と学生をマッチングさせるような仕組み

■発表内容概要

現状・課題としては、駅前が楽しくない、楽しい場所が少ない、若者が少ない、起業をしたいと思ったときに地元の人にしか選ばれず他の場所の人が起業する場所として選ぶ理由がないことが挙げられている。

その理由を作っていくためには、長岡に外から興味を持っていただくきっかけをつくるために、長岡でクリエイティブなことを行っていくことが大切になる。仕事がなくなった年配の方や、起業を希望する人が皆で何か行っていくことを行っていきたい。例えば、造形大学生が実際に行っているが、古民家再生プロジェクトを行っており、古民家再生に取り組んでいる大人の活動の参加させてもらっている。また、企業のつくるパッケージを学生に任せてもらうなどのアイデアも必要である。地元に加え、長岡市外の企業と学生をマッチングさせるような仕組みが必要になるという結論にいきついた。

社会人と学生がうまくマッチングできる場所、それはネット上でもいいし、居場所でもいいが、そうした場所があることで情報発信もでき、マッチングもできるようになるといろいろなことがまわっていくと思う。土木関係の方や建築関係の方でもいいが、一緒に何かを行って、集まれる場所や見てもらう場所を作ってもらい、市外の方にきてもらい、長岡を発見してもらい、それが外への情報発信にもつながると思う。

